

せいらい ゆういち

青来 有一



* 昭和33年12月13日 長崎市生まれ

○ 略歴

- 昭和58年 長崎市役所就職
(25歳) この頃からワープロで少しずつ小説を書き始める
- 平成7年 「ジェロニモの十字架」で第80回文学界新人賞受賞
(37歳) 同作で第113回芥川賞候補となる
- 平成8年 「ウネメの家」で第115回芥川賞候補となる
(38歳) 「泥海の兄弟」で第116回芥川賞候補となる
- 平成11年 「信長の守護神」で第121回芥川賞候補となる
(41歳)
- 平成13年 「聖水」で第124回芥川賞受賞
(43歳)
- 平成19年 「爆心」で伊藤整文学賞、谷崎潤一郎賞受賞
(49歳)
- 平成25年 「爆心」が「爆心 長崎の空」のタイトルで映画化される
(55歳)

○ 主な受賞歴

- | | | |
|-------|------------|-------------|
| 平成7年 | 第80回文学界新人賞 | 「ジェロニモの十字架」 |
| 平成13年 | 第124回芥川賞 | 「聖水」 |
| 平成13年 | 長崎県民表彰 | |
| 平成19年 | 第18回伊藤整文学賞 | 「爆心」 |
| | 第43回谷崎潤一郎賞 | 「爆心」 |

○ その他の代表作

月夜見の島(平14) 眼球の毛(平15) てれんぱれん(平19)
夢の栓(平24)